

# 中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

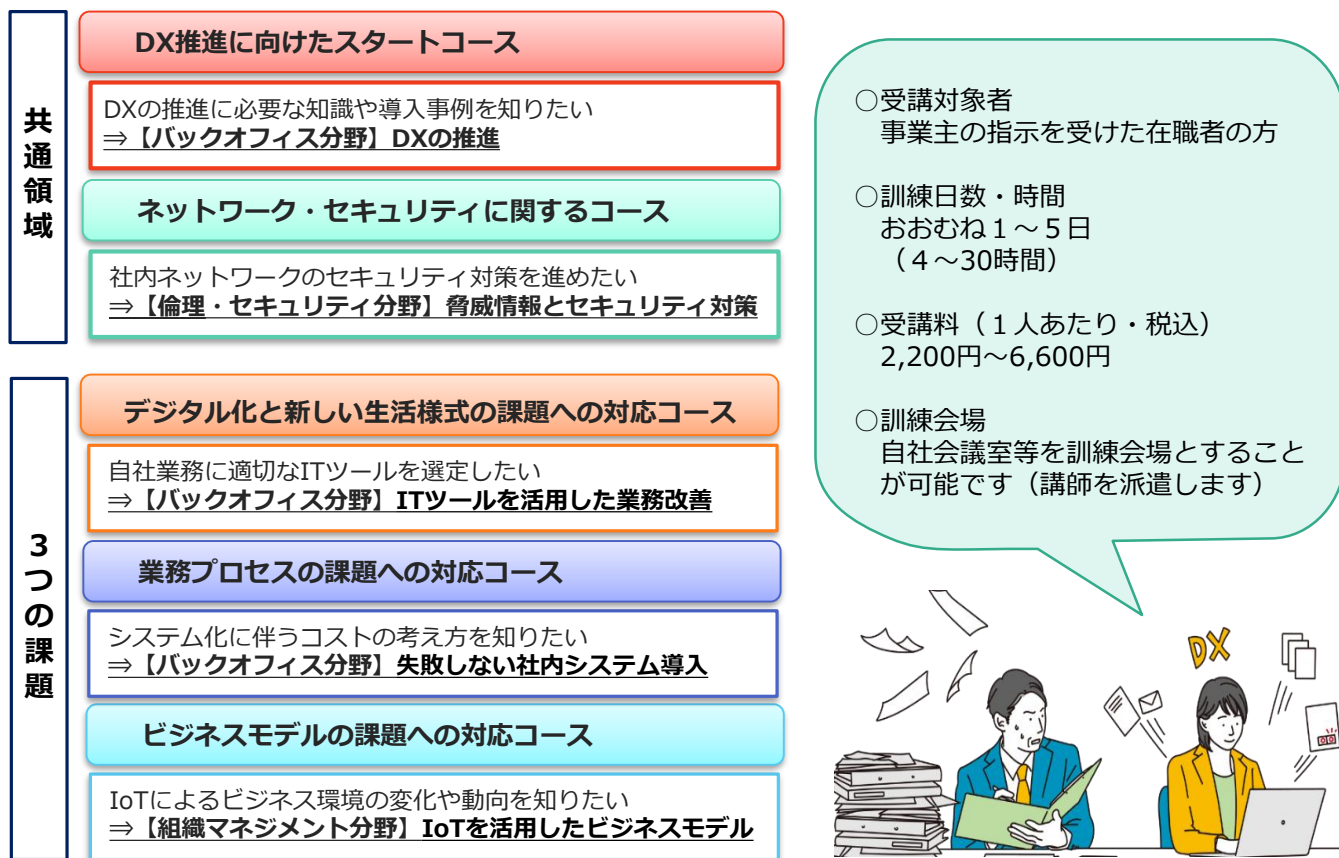
現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



## DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。



## 訓練受講までの流れ

**課題や方策の整理** センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

**訓練コースのコーディネート** 相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

**訓練受講** 所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



## DX対応コース 利用者の声①

# 株式会社アテナ

「効率良く業務を行うためのデータ活用・分析手法や新しい働き方への知見を習得することができました。」

### 利用コース情報

- ・訓練コース名：「120 データサイエンス入門」等
- ・訓練期間：令和4年8月～9月
- ・受講者数：延べ16名

### プロフィール

- ・所在地：島根県松江市
- ・従業員数：8名
- ・事業内容：シンクタンク

#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した感想をお聞かせください。

A 訓練で学んだ新技術やITツールを使い、「基礎資料となるデータ解析」「実態を把握する現地調査結果の解析」「住民アンケートの集計・分析」で自動化や効率化を図り、労働時間の短縮と所得向上につなげていきたいと考えています。働きやすい環境と個々の能力向上は一見両立が難しいように感じますが、より深い分析を行い社会問題の解決に向けたアイデアを生み出すために、最新技術の習得を継続していきたいと思えます。



#### <訓練を受講した従業員の方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 訓練の中で行ったグループワークが最も印象に残っています。グループワークでは、現在の業務プロセスの課題点の洗い出しや効率よく業務を行うためデータの活用方法・分析方法、自社のIT技術の活用状況等に関して受講者同士で意見を出し合いました。自分自身が感じていなかった課題点やアイデアを聞くことができ、新たな発見や気づきを得ることができました。

訓練全体を通して、最新技術を有効に活用することで業務効率化や生産性向上だけでなく、リモートワーク等働き方の選択肢を広げることにもつながるのではないかと考えるようになりました。社員一人ひとりの能力向上と働きやすい職場環境の実現ができるといいなと思います。

## DX対応コース 利用者の声②

# 入栄工業株式会社

「ITツールを使用した業務の簡素化・自動化についての知識を習得することができました。」

### 利用コース情報

- ・訓練コース名：  
「091 企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解」等
- ・訓練期間：令和4年6月～9月
- ・受講者数：延べ57名

### プロフィール

- ・所在地：岡山県井原市
- ・従業員数：93名
- ・事業内容：鋼構造物工事業



#### <訓練を利用した事業主の方の声>

Q 利用した感想をお聞かせください。

A 訓練を利用して、業務における無駄やITツールを使うことで簡易化できる部分が部署ごとに整理できました。また、簡易化・自動化に関する知識を習得することができました。訓練受講者から「この業務は自動化できる」等の具体的なアイデアも出ており、今後ITツールを浸透させていくことでさらなる業務効率化が可能になるのではと期待しています。

#### <訓練を受講した従業員の方の声>

Q 受講した感想をお聞かせください。

A 私が担当する業務の中に弁当の発注業務と出勤退勤情報を各事業所に毎朝送付するという定刻になると必ず行う業務があり、他の業務と重なった場合に煩わしさを感じていました。

今回「企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解」の訓練を受講し、業務を自動化することができるのではと気づくことができました。現在はRPAを活用して、定刻になると自動でデータを取引先や社内へ送付しています。今後は、私のメインの業務である材料の数量出しや見積書の作成などにもRPAを活用していきたいです。できるだけ人の手を介さずに自動で業務を進めることができるよう、担当の業務のフローチャートを作成し、RPAに置き換えることのできる業務の洗い出しをしています。

今回の訓練でまだまだ知らないことがたくさんあることを知り、ITツールに便利な機能もたくさんあると感じたので、さらに勉強して業務効率化に役立てたいです。